

安城市 市民協働に関するアンケート

～第3次安城市市民協働推進計画策定に関する調査（市民活動団体対象）～

《ご協力をお願い》

市民活動団体の皆さまには、日頃から市政へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。安城市では、市民協働によるまちづくり*を推進するため、平成30年に策定した「第2次安城市市民協働推進計画」を改訂し、「第3次安城市市民協働推進計画」を令和5年度中に策定する予定です。

今回の調査は、市民協働によるまちづくりを推進する施策を検討するための基礎データを得ることを目的に実施します。それ以外の目的に使うことはありません。回答はすべて統計的に処理しますので団体が特定されるなど回答された方にご迷惑をおかけするようなことはありません。

この調査票は、市民活動センター及び社会福祉協議会ボランティアセンターに団体登録している市民活動団体の皆さまにお送りしました。お忙しいところを誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

※「市民協働によるまちづくり」とは、市民、地域団体、市民活動団体、事業者、市が、お互いに助け合い、協力し合って、誰もが幸せに暮らし続けられるまちづくりを行うことです。

令和4年8月

安城市長 神谷 学

回答期限：令和4年■月■日(■)

〈回答方法〉

●回答期限までに、①又は②のどちらかの方法でご回答ください。

①Webページから入力

右のQRコードからWebページにアクセスし、ご回答ください。

(Webシステムの管理は、一般社団法人地域問題研究所に委託しています。)

②調査票に記入

調査票に回答を直接記入し、同封の返信用封筒(切手不要)に入れてご投函ください。

〈回答にあたって〉

●回答は、団体の代表者がご記入下さい。何らかの事情により、代表者が記入できない場合には、会の内情をよくご存知の方がご記入下さい。

QRコード

<問合せ先>

安城市役所 市民生活部 市民協働課(担当:浅井、杉浦)

TEL:0566-71-2218 FAX:0566-72-3741

Eメール:kyodo@city.anjo.lg.jp

協働ってどうして必要なの？

◆「市民協働」とは？

各地域に存在する「地域の課題」を解決するために、市民、町内会などの地域団体、市民活動団体、事業者、市が、それぞれの特性を生かして補完し合い、協力しながら、課題の解決に向けて活動することです。

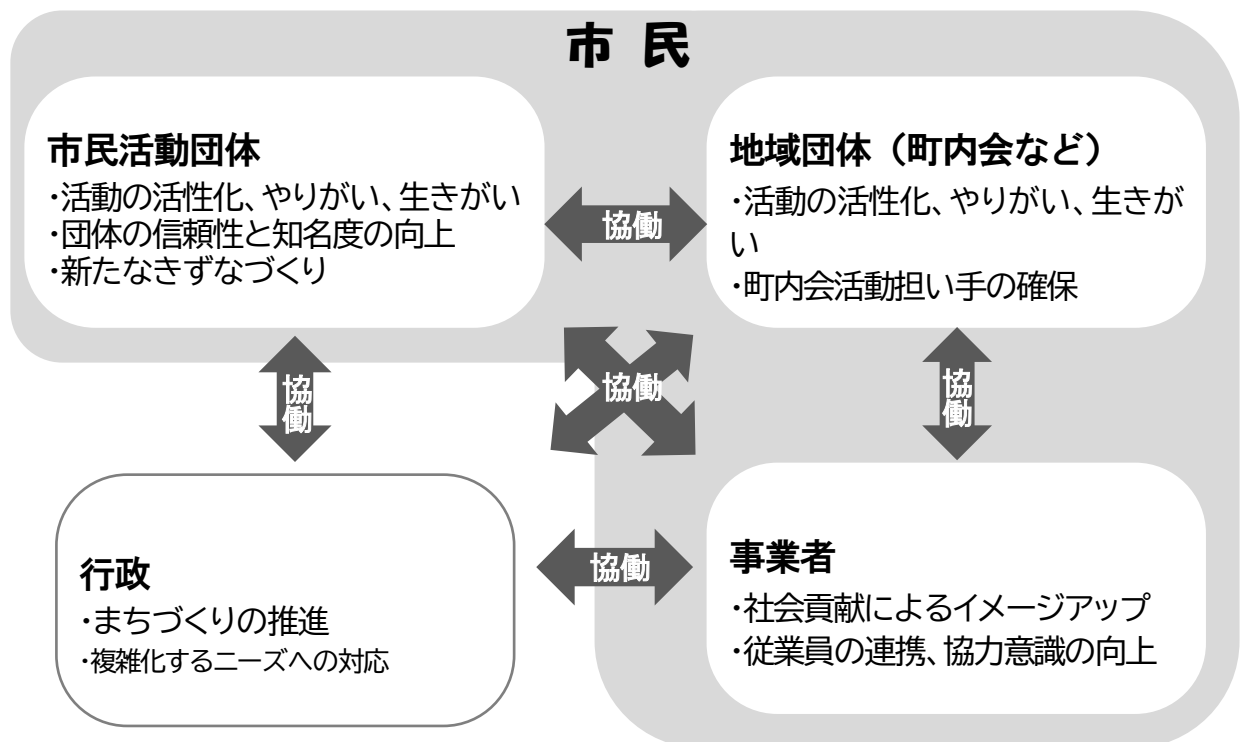
◆「協働」するメリットは？

協働においては、それぞれの主体が、自分の得意分野を持ち寄り、また、他者の不得意な分野を補いながら活動するため、単独では得ることのできなかった、大きな成果を得られることがあります。そのことが町内会、市民活動団体の活性化につながり、結果として課題の解決につながる可能性があります。市民にとっては、団体の活動が活性化し、地域の課題が解決することで、暮らしやすい地域がつくられることがメリットとなります。

【協働のイメージ図】

だれもが幸せに暮らし続けられるまち

協働の成果 ・ 地域課題の解決
・ 地域の活性化 など



安城市 市民協働に関するアンケート（市民活動団体対象） 調査票

I. 貴団体の概要についておたずねします。

問1 貴団体の組織概要についてお答えください。（選択肢の設問は、あてはまるもの1つに○印）

団体名			
団体種別	1. 法人化していない市民活動・ボランティア団体 2. NPO 法人 3. 公益社団法人・一般社団法人 4. 社会福祉法人 5. その他(具体的に:)		
活動年数	1. 3年未満 4. 10年以上20年未満 2. 3年以上5年未満 5. 20年以上 3. 5年以上10年未満		
会員数	総数_____名(令和4年4月1日現在) (うち個人会員_____名・団体会員_____団体)		
主な活動地域	1. 安城南中学校 5. 桜井中学校 9. 市内全域 2. 安城北中学校 6. 東山中学校区 10. 安城市外 3. 明祥中学校 7. 安祥中学校区 11. その他 4. 安城西中学校 8. 篠目中学校区 ()		
令和3年度 年間活動予算	1. 5万円未満 4. 50万円以上～100万円未満 2. 5万円以上～10万円未満 5. 100万円以上 3. 10万円以上～50万円未満		
活動の対象者	1. 高齢者 4. 子ども 2. 障害者 5. 外国人 3. 患者 6. 不特定		

II. 市民活動の現状と課題についておたずねします。

問2 事務所（自団体専用の事務スペース）を持っていますか。（○印は1つだけ）

1. 持っている ⇒ 問3へ 2. 持っていない ⇒ 問4へ

（問2で、「1. 持っている」と回答した方におたずねします）

問3 どこを事務所として活動していますか。（○印は1つだけ）

1. 会員や代表の自宅 3. 賃貸オフィス
 2. 他団体のスペースを間借り 4. その他(具体的に:)

(すべての方におたずねします)

**問4 主に事務作業や会議・打合せなど団体を運営・維持するための活動をどこでしていますか。
(あてはまるものすべてに○印)**

- | | |
|---------------------------------------|--------------------------|
| 1. 市民交流センター(市民活動センター) | 9. 総合福祉センター(社会福祉会館) |
| 2. ヘきしんギャラクシープラザ(文化センター) | 10. 地区福祉センター |
| 3. 地区公民館(市が設置している公民館) | 11. 町内公民館(町内会が設置している公民館) |
| 4. 市民会館 | 12. 柿田公園管理事務所「エコきち」 |
| 5. アンフォーレ | 13. あんぱ〜く(子育て支援センター) |
| 6. 青少年の家 | 14. 民間の貸し会議室など |
| 7. 東祥アリーナ安城(安城市体育館)・スポーツセンター・マーメイドパレス | 15. 個人宅 |
| 8. 歴史博物館(市民ギャラリー) | 16. その他の施設 |
| | (施設名:) |

問5 人材に関する主な課題は何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 運営スタッフが少なく特定の個人に責任や作業が集中する |
| 2. 活動の中心となるリーダーが育たない |
| 3. メンバーが高齢化している |
| 4. 世代間の偏りがある |
| 5. メンバーが忙しく、活動等の時間がなかなかとれない |
| 6. 新しいメンバーがなかなか入ってこない |
| 7. メンバーが定着しない |
| 8. 特にない |
| 9. その他(具体的に:) |

問6 場所等に関する主な課題は何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

- | |
|--|
| 1. 活動に必要な機材が不足している(機材名) |
| 2. 活動のための道具を置く場所が不足している |
| 3. 会議や打合せを行う場所が不足している |
| 4. 事務作業を行う場所の確保が難しい |
| 5. 電話・郵便物などを受ける決まった窓口(連絡先)がない(個人代表に依存している) |
| 6. 特にない |
| 7. その他(具体的に:) |

問7 資金に関する主な課題は何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

- | |
|------------------------|
| 1. 収入が安定しない |
| 2. 自主的な事業活動による収入が増えない |
| 3. 補助金・助成金の申請の仕方がわからない |
| 4. 寄附金が集まらない |
| 5. 会費や入会金が増えない |
| 6. 金融機関からの融資や助成が受けられない |
| 7. 特にない |
| 8. その他(具体的に:) |

問8 活動に必要な「資金」を主にどこから得ていますか。(あてはまるもの2つまで○印)

1. 会費・入会金	6. 自主的な事業活動による収入
2. 行政機関からの補助金・助成金	7. 寄附金
3. 民間からの補助金・助成金	8. 特にない
4. 行政機関からの業務委託など	9. その他
5. 民間団体からの業務委託など	(具体的に:)

問9 情報に関する主な課題は何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

1. 活動に参加したい人の情報が得にくい
2. 自分たちの活動を効果的に広める方法がない
3. 他の市民活動団体や町内会等との情報交換や交流がしにくい
4. 活動を必要とする人や施設の情報が得にくい
5. 助成金など支援の情報が得にくい
6. 自分たちの活動に関わる法制度等の情報がわからない
7. その他 (具体的に:)

問10 活動に必要な情報をどこから入手していますか。

(①から⑪の項目についてあてはまるものそれぞれ1つに○印)

	いつも 見ている	時々見ている	あまり 見ていない	見ていない
① 市公式ウェブサイト	1	2	3	4
② 広報あんじょう	1	2	3	4
③ 市民活動情報サイト	1	2	3	4
④ 市民活動センター情報誌 「ぼらリン」	1	2	3	4
⑤ 市民交流センター LINE・フェイスブック・Instagram	1	2	3	4
⑥ 生涯学習情報誌「あてな」	1	2	3	4
⑦ 社会福祉協議会ウェブサイト (ボランティアの窓など)	1	2	3	4
⑧ あんじょう社協だより	1	2	3	4
⑨ 県や他市町のウェブサイト	1	2	3	4
⑩ フェイスブックなどのSNS 閲覧先 ()	1	2	3	4
⑪ その他 ()	1	2	3	4

問 1 1 その他市民活動を継続していく上で、ご意見等があれば記入してください。

Ⅲ. 新型コロナウイルス感染症による影響とその対応についておたずねします。

★ 問 1 2 令和元年（2019 年）末からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、コロナ前と現在を比べて貴団体の活動に変化はありましたか。（○印は 1 つだけ）

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 1. 大きく変わった ⇒ 問 13 へ | 3. ほとんど・全く変わらない ⇒ 問 14 へ |
| 2. 少し変わった ⇒ 問 13 へ | |

（問 12 で、「1」または「2」のいずれかに回答した方におたずねします）

★ 問 1 3 コロナ前と比べて、現状でどのような変化がありますか。（あてはまるものすべてに○印）

- | |
|--------------------------------|
| 1. 活動場所(施設等)が使えなくなった(活動場所を変えた) |
| 2. 活動場所(施設等)の利用に制限(人数・回数など)がある |
| 3. 活動事態ができなくなっている、活動機会が減少している |
| 4. 会議を延期、中止している |
| 5. イベントや講座等を延期、中止している |
| 6. 事業の参加人数が減少した、事業収入が減少した |
| 7. 活動の意欲が低下した |
| 8. 活動や運営のオンライン化が進んだ |
| 9. その他（具体的に： _____ ） |

（すべての方におたずねします）

★ 問 1 4 新しい生活様式（コロナ禍）の下で、貴団体に取り組んでいる工夫や対策は何ですか。
（あてはまるものすべてに○印）

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 感染対策について、団体での方針・ルールを定め運用している |
| 2. マスク着用、アルコール消毒、注意喚起等の感染予防を講じている |
| 3. オンラインツールを活用して、会議やイベント等を実施している |
| 4. 延期・中止、休止している活動・事業等の代替開催をしている |
| 5. 一部またはすべてのスタッフが在宅でのワークに切り替えている |
| 6. スタッフや事業関係者等とコミュニケーション・情報交換を図っている |
| 7. 他団体と連携したり、地域内で連携したりして対策を推進している |
| 8. 行政と連携して対策を推進している |
| 9. 感染症対策に関する支援制度や助成金等の情報を収集している |
| 10. 感染症対策に関する支援制度や助成金制度等を活用している |
| 11. 特に何もしていない |
| 12. その他(具体的に： _____) |

Ⅳ. 市民活動を活性化するために必要なことについておたずねします。

問15 安城市は、市民活動団体、ボランティア団体に対して、具体的にどのような支援をすることが必要だと思いますか。(最も必要と思う支援を3つまで○印)

1. 団体に対する「経済的支援(補助金等)」
2. 団体が活動するために役立つ「行政情報」の提供
3. 団体の活動を支援する機能や活動拠点
4. 交流できる場所や会議のできるスペース
5. 他の団体や町内会等との「交流機会」の充実
6. 組織づくりや活動運営についての「相談体制」の充実
7. 自団体及び活動内容のPR
8. 活動分野やイベントに関する専門家の派遣
9. 市民活動の担い手の育成などの「人材育成」の実施
10. 行政の関与は必要ない
11. 特にない
12. その他(具体的に:)

問16 市民活動団体、ボランティア団体は、どのような取り組みをすることが必要だと思いますか。(最も必要な取り組み3つまで○印)

1. 協働に関する認識や理解を深める
2. 活動の運営基盤(人材、資金)を強化し安定性を高める
3. 組織の専門性(企画力、提案力)を高める
4. 組織の事務管理能力を高める
5. 気軽に意見交換できる信頼関係をつくる
6. 組織や活動に関する情報を積極的に外部に発信する
7. 公益を担うという意識を高める
8. 協働相手の特徴や立場の理解に努める
9. その他(具体的に:)

問17 市民活動を支援するための施設である「市民交流センター」を普段どの程度利用していますか。(○印は1つだけ)

- | | | |
|-------------|-------------|---------------|
| 1. 週1回以上 | 4. 3ヶ月に1回程度 | 7. 施設が存在を知らない |
| 2. 月に2~3回程度 | 5. 半年に1回程度 | 8. その他 |
| 3. 月に1回程度 | 6. 利用していない | () |

問18 市民交流センターを現在利用している方は、利用上の問題点・課題があればご記入下さい。また、現在利用していない方は、なぜ利用していないのか理由をご記入ください。

V. 協働についておたずねします。

問19 他の市民活動団体、地域団体、事業者、市と協働して活動したことがありますか。
(○印は1つだけ)

1. ある ⇒ 問20、21へ

2. ない ⇒ 問22へ

(問19で、「1. ある」と回答した方へ)

問20 協働相手について教えてください。(あてはまるものすべてに○印)

- | | | |
|----------------|------|---|
| 1. 同じ分野の市民活動団体 | (団体名 |) |
| 2. 違う分野の市民活動団体 | (団体名 |) |
| 3. 町内会等の地域団体 | (団体名 |) |
| 4. 事業者 | (団体名 |) |
| 5. 行政 | (団体名 |) |
| 6. その他 | (団体名 |) |

問21 協働した活動内容について教えてください。

(問19で、「2. ない」と回答した方へ)

問22 今後、他の団体と協働して活動したいと思いますか。(○印は1つだけ)

1. 思う ⇒ 問23、24へ

2. 思わない ⇒ 問25へ

(問22で、「1. 思う」と回答した方におたずねします)

問23 どのような団体と協働したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

- | | | |
|----------------|------|---|
| 7. 同じ分野の市民活動団体 | (団体名 |) |
| 8. 違う分野の市民活動団体 | (団体名 |) |
| 9. 町内会等の地域団体 | (団体名 |) |
| 10. 事業者 | (団体名 |) |
| 11. 行政 | (団体名 |) |
| 12. その他 | (団体名 |) |

(★)問24 協働したい活動内容を簡単にご説明ください。また、新しい生活様式(コロナ禍)の下、他の団体等と協働することで課題解決につなげたいことがあればお聞かせください。

(問22で、「2. 思わない」と回答した方におたずねします)

問25 他の団体と協働したくない理由について教えてください。(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 自分たちで活動が完結しているため | 4. 他にどのような団体があるかわからないため |
| 2. 活動に制約ができてしまうため | 5. その他() |
| 3. 他の団体等との調整が困難なため | |

(すべての方におたずねします)

問26 平成25年度より実施されている「市民活動補助制度」があることを知っていますか。

(○印は1つだけ)

- | | |
|--|---|
| 1. 知っている ⇒ 問27 へ | 2. 知らなかった ⇒ 問29 へ |
|--|---|

(問26で、「1. 知っている」と回答した方におたずねします)

問27 「市民活動補助制度」に申請したことがありますか。(○印は1つだけ)

- | | |
|--------------------------|---|
| 1. 申請したことがあります、採択された。 | |
| 2. 申請したことがあるが、採択はされなかった。 | |
| 3. 申請を検討したが、申請しなかった。 | ⇒ 問28 へ |
| 4. 制度は知っていたが、申請したことはない。 | ⇒ 問28 へ |
| 5. その他(具体的に: |) |

(問27で、「3」または「4」と回答した方におたずねします)

問28 申請しなかった理由をご記入ください。(あてはまるものすべてに○印)

- | |
|----------------------|
| 1. 書類の作成方法がわからない |
| 2. 公開プレゼンが面倒だ |
| 3. 全額補助ではないので魅力を感じない |
| 4. 補助金は必要ない |
| 5. その他(具体的に: |

(すべての方におたずねします)

問29 今後の市民活動団体への補助制度のあり方等について、アイデアや希望がありましたらご記入下さい。

問30 協働の担い手となる人材を育成するためには、どのような人材養成講座が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

1. 新たに市民活動を始めようとする人材を養成する講座
2. 市民活動団体同士を結びつけ、協働を作り出す(コーディネートする)ことのできる人材を養成する講座
3. 組織運営能力の向上を図る講座
4. 特にない
5. その他(具体的に: _____)

問31 人材養成講座についてのアイデアなどがありましたら具体的にご記入ください。

問32 協働を推進するために、安城市はどのような取り組みが必要だと思いますか。(最も必要な取り組み3つまで○印)

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 市民活動に関する理解を深める | 6. 単年度ではなく中長期的なビジョンで進める |
| 2. 課題を総合的に把握し対処する | 7. 客観的な評価の仕組みを作る |
| 3. 対等な関係として尊重する | 8. 様々な立場の主体をまとめる調整力をつける |
| 4. 協働に関する情報公開をすすめる | 9. 市職員の協働に対する意識を高める |
| 5. 十分な意見交換の機会を設ける | 10. その他(具体的に: _____) |

問33 その他市民協働を推進するためのアイデアやご意見等など、何でも自由にお書き下さい。

アンケートは以上で終わりです。
ご協力いただきありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函してください。

